

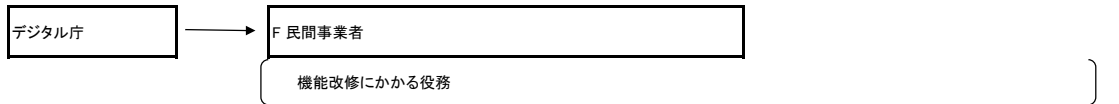
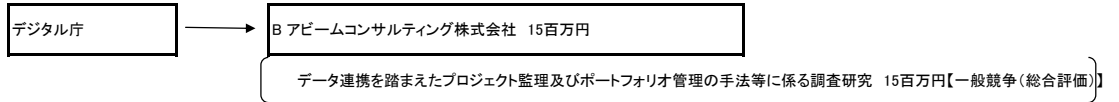
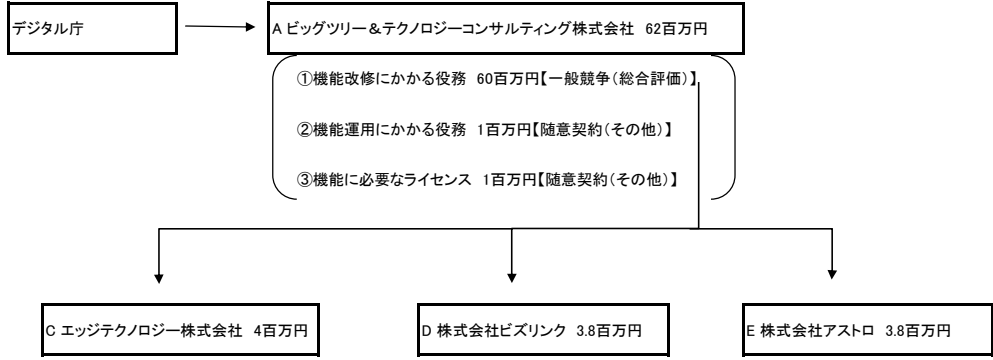
事業番号

2023 - デジ - 22 - 0001 - 02

令和5年度行政事業レビューシート				デジタル庁			
事業名	統括・監理支援システム		担当部局	戦略・組織グループ		作成責任者	
事業開始年度	令和3年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	政府DXチーム	参事官 北間 俊秀、帆足 雅史	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)			関係する 計画、通知等	デジタル社会の実現に向けた重点計画(令和5年6月9日閣議決定)			
政策	情報通信技術等の適正・効率化に関する施策の推進		主要経費	その他の事項経費			
施策	情報システムの整備						
政策体系・評価書URL	https://www.digital.go.jp/policies/assessment/						
事業の目的 (5行程度以内)	「デジタル社会の実現に向けた重点計画」を踏まえて、デジタル庁及び各省が構築するシステムが適切な方向に向かうよう、重点計画等を策定し、レビューや予算の一括計上等を通じて、政府全体の情報システムを統括・監理するための基礎情報を整理する。						
現状・課題 (5行程度以内)	旧政府情報システム管理データベース(旧ODB)では同様の事業を行っていたが、入力にかかる事務負担が多かったため、未入力データも増え、データ活用ができない課題があった。 政府情報システムを統括・監理するために以下対応を行う必要がある。 ・収集する情報量を最小限に絞ると共に、入力負荷軽減となるUIや仕組みを導入すること ・データベース情報を閲覧するビューを整備し、データを活用すること						
事業概要 (5行程度以内)	「重点計画」等の全体戦略を企画・立案し、その実現に向けて、政府全体のシステムを統括・監理する機能の整備を行う。 令和4年度に以下を整備した。 ・webフォームで入力する機能 ・データベース情報を閲覧するビュー						
事業概要URL							
実施方法	直接実施						
補助率等							
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の 状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	-	-	-	-	-
		令和5年度第1次補正予算					
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	-	-	-	-
		執行額(G)	-	20	77		
執行率(%) =(G)/(F)	-	-	-				
当初予算+補正予算に対する執行額の 割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	-	-	-				
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	計(A)		-	-			

活動内容① (アクティビティ)	「重点計画」等の全体戦略の企画・立案や政府全体のシステムの統括・監理を実施するための基礎データの整備を行い、デジタル庁及び各省庁で活用できるようにすること。具体的には以下の通り ・デジタル庁では、政府情報システムの統括・監理に利用 ・各府省では、PMO管理業務、自システムの方針検討に利用								
↓									
活動目標及び活動実績① (アウトプット)	活動目標 「重点計画」等の全体戦略の企画・立案や政府全体のシステムの統括・監理を実施するための基礎データの整備	活動指標 情報資産管理標準シートの提出率		単位 %	令和2年度 -	令和3年度 86	令和4年度 96	5年度 活動見込 -	6年度 活動見込 -
			活動実績						
			当初見込み						
↓ 成果目標①-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	デジタル庁において、戦略の企画・立案や、政府情報システムの統括・監理(一元的なプロジェクト監理)の実施にあたり、各システムの基礎情報を把握しておく必要があり、各省においては、PMO監理業務に必要な情報の保持、また、他府省のシステム情報を参考にすることで、自府省のシステム方針検討に利用していく。基礎データの整備にあたり情報資産管理標準シートの提出率を上げるために、入力負荷軽減を行う必要があるため。								
成果目標及び成果実績①-1 (短期アウトカム)	成果目標 Webフォームでの情報資産管理標準シート提出の実施	定量的な成果指標 Webフォームの利用府省数		単位 府省	令和2年度 -	令和3年度 -	令和4年度 4	目標年度 5年度 -	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	GSS(ガバメントソリューションサービス)への各省LAN統合スケジュール、および、GSS統合前でのGSSへの接続調査								
↓ 成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	政府情報システムの情報(情報資産管理標準シート)データを収集した後、データを活用していく必要があるため。								
成果目標及び成果実績①-2 (中期アウトカム)	成果目標 政府情報システムの情報(情報資産管理標準シート)を集約したデータベースを構築し、集約したデータをビューで可視化しデジタル庁(政府DX等)で活用し、統括・監理の高度化に寄与する。	定量的な成果指標 各ビューへのアクセス件数		単位 件	令和2年度 -	令和3年度 -	令和4年度 -	目標年度 5年度 -	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	利用者が週1回利用する想定で目標値を設定								
↓ 成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカムへのつながり)	政府情報システムの情報を集約したデータベース及びビューでの可視化機能を作成することで、各省毎に情報を抽出し各省へ展開することが可能となり、各省のPMO管理業務等の高度化に寄与するため。								
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)	成果目標 政府情報システムの情報(情報資産管理標準シート)を集約したデータベースを構築し、集約したデータをビューで可視化し各府省で活用し、PMO管理業務等の高度化に寄与する。	定量的な成果指標 各省PMO向け利用府省数		単位 府省	令和2年度 -	令和3年度 -	令和4年度 -	目標最終年度 6年度 -	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	GSS(ガバメントソリューションサービス)への各省LAN統合スケジュール、および、GSS統合前でのGSSへの接続調査								
アウトカム設定について の説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金額が 支出されている者について 記載する。費目と使途の 双方で実情が分かるように 記載)	A.			B.			
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
	役員費	機能改修にかかる役員	48.4	役員費	調査研究	15	
	役員費	機能運用にかかる役員	1				
	情報処理業務費	機能に必要なライセンス	1				
	計		50.4	計		15	
	C.			D.			
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
	役員費	機能改修にかかるエッジテクノロジー株式会社への委託業務	4	役員費	機能改修にかかる株式会社ビズリンクへの委託業務	3.8	
	計		4	計		3.8	
E.			F.				
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)		
役員費	機能改修にかかる株式会社アストロへの委託業務	3.8					
計		3.8	計				
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						チェック	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社ビッグツリーテクノロジー&コンサルティング	2010001193831	システム改修	60	一般競争契約 (総合評価)	1	93.8%	
2	株式会社ビッグツリーテクノロジー&コンサルティング	2010001193831	運用役員	1	随意契約(少額)	1	100%	
3	株式会社ビッグツリーテクノロジー&コンサルティング	2010001193831	ライセンス	1	随意契約(少額)	1	100%	

B.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	アビームコンサルティング株式会社	8010001085296	一元的なプロジェクト監理に かかる調査研究	15	一般競争契約 (総合評価)	1	100%	

C.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	エッジテクノロジー株式会社	9010401111881	システム改修	4	その他	-	-	

D.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社ビズリンク	8010001166914	システム改修	3.8	その他	-	-	

E.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)	
1	株式会社アストロ	3011101086230	システム改修	3.8	その他	-	-		
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載								チェック	